



●6月のワークショップ

6月11日(日)にサーカス資料館に集合、翌12日(月)からサーカス学校で始まったワークショップは17日(土)解散して、無事終了しました。秋のワークショップ(10月)を開催するかどうかは未定なので、参加を予定している方は、9月中旬から始まる17年目前期の授業期間中、いつでもお越しください。というのも、平常の授業期間中は体験入学という形をとっていますが、入学が目的ではなくどんな練習をしているのか体験したい方や、身体づくりのために何日か授業を受けてみたいと思われる方もぜひお越しください。

事実、ワークショップに参加する方の多くは、すでにパフォーマーとして活動している人や演劇関係者が多いようです。今回のメンバーもそうした方が多かったのですが、なかに入学者希望の高校生が一名いました。

体験入学に来る日で注意していただきたいのが、当校は土・日・祝日は授業が休みなので、平日に来てもらいたいということです。遠慮せずに、まずはご連絡をいただければと思います。

先日高校生から「夏休み期間に体験入学はできるのですか?」という問い合わせがありました。高校3年生だということで、「進路相談の先生のところに行き、卒業後の進路先にサーカス学校を考えているので体験入学してきたいと相談して、2、3日休みをもらおうように」と話をしました。これが、高校1、2年生の場合、学校が相談に乗ってくれるかどうか難しいかもしれません。

ともかく、サーカス学校に関心のある方は、ご遠慮なくご連絡をください。

一度社会人になったものの、どうしてもパフォーマンスがやりたいと考えて入学してくる30代の方もいれば、すでに素晴らしい演技を身につけて、パフォーマンスの世界で活躍し始めている方もいるので。

●サーカスショーの新しい受け皿を求めて

サーカス界の巨象中の巨象に例えられていた、アメリカのリングリング・ブラザーズ・アンド・バーナム・アンド・ベ
イリーサーカスが、去る5月22日のファイナルショーで、146年の歴史に幕を降ろしてしまった。あのスリーリングの
センターリングでフィナーレを飾るパフォーマンスを演じるのが、サーカスアーティストの夢であり最高の栄誉であ
ると言われていただけに、そんなアーティストの夢も一緒に消えてしまったのだろうか。いや、最近では、リングリ
ング・サーカスよりもシルク・ドゥ・ソレイユのほうが若い人々にははるかに人気で、ソレイユの舞台にたつ自信はな
いけれども、どうしてもソレイユに関係した仕事をしたいという若者も多いようなので、アーティストの夢もすでに変
わっているのかもしれない。

ぼくらの学校に入学する若者の何人かは、入学希望を聞くとソレイユを見てサーカスをやりたくなつたと話してく
れるが、リングリング・サーカスについては、名前だけは聞いたことがありますという程度で、なにひとつ知らない
若者が多い。

スリーリングを囲む大きなトラックを何頭もの象がその巨体を揺すりながら走る姿は、壮観というか迫力満点な
のだが、その象のショーを動物愛護団体の強い反対でやめてしまい、その結果、集客が大幅に減少してしまった
というのが、幕を降ろさざるをえなくなった大きな原因らしいが、その他にも、移動費を始めさまざまな運営費の
高騰があるとは、CEOのケネス・フェルドの談。もちろん、彼がシルク・ドゥ・ソレイユに負けたからというはずはない
が、ソレイユがアメリカで大人気となり、そちらにお客が流れてしまったのも事実であろう。

ソレイユの創業者の一人であるギー・カロンが、モンテリオールで成功したソレイユが初めてアメリカで公演した
時に、お金が湯水のように降ってきたと話してくれたことがある。このアメリカでの大成功が、今日、世界中で公
演しているソレイユの出発となったのだが、そのソレイユも現在はかなり経営に苦労しているという噂が流れてい
る。

伝統的なサーカスの筆頭であったリングリング・サーカスが幕を閉じてしまったのは、ソレイユやヌーボーシルク
と呼ばれる新しいサーカスショーでサーカスが好きになった世代ではなく、いわば伝統的な、動物芸があり、クラ
ウンがいて、さまざまなアクトがビッグ・トップと呼ばれるテントの中で次々と演じられるショーを堪能してきた世代
にとっては、サーカスそのものが時代の波に飲み込まれてなくなってしまうような、その波に自分も押し流されてし
まうかのような寂しさを感じるのではないだろうか。

リングリング・サーカスがなくなったからといって伝統的なサーカスがなくなることもないだろうが、気になるのはス
イスのクニーサーカスだ。お客が入っているのだろうか、経営は？ また木下サーカスはどうなのだろうかとも思う
が、こちらは毎公演ごとに、長蛇の列ができるほどの人気なので、全く心配はなさそうだ。

それに、いわゆる伝統的なサーカスは、例えば南米などではいまでも盛んに公演しているようだし、日本でもサ
ーカステントを購入して、サーカスをやりたいと考えている人もいるようなので、ひょっとすると、キグレサーカス倒
産以降、現在活動している木下、ポップ、ハッピードリームの3団体に新しいサーカス団が加わるかもしれない。し
かもこの新しいサーカスは、ヌーボーシルク系のサーカスではなくオーソドックスなものようだ。

* * *

<もうひとつのサーカス>

2001年にサーカス学校を立ち上げる以前から、サーカス団を立ち上げるつもりはないのですかと聞かれたこと
とは度々ある。それは夢ではあったものの、その気にはなれなかったのも事実だ。サーカス団を立ち上げることが
いかに大変か。テントひとつをとっても、お金がなければ手に入れることはできないし、そのテントを建てて倒しま
た建てるといった作業にはかなりの人手とお金がかかる。関根サーカスにいるころに、テントのバラシと立ち上げ
にいかにか手間暇がかかるということは学んでいる。それと、サーカス興行にはややこしい業界の利権がらみの問



題もある。そういうことに思いを巡らすと、とてもではないが、サーカス団を結成しテントを持って興行するなど、夢のまた夢としか思えなかった。いや、いまでもそう感じている。

その夢はとうの昔に捨ててしまっているが、またその一方で、サーカス興行ではなく持続するサーカスショーがどうにかしてできないかという願いが、時折、鎌首をもたげるのも事実である。

そんな昨今、サーカスショーを作るのではないが、サーカスショーの演目構成を材料に、ひとつの舞台作品をつくれぬか。それが実際のサーカスの演目構成とは関連しなくなるかもしれないが、とりあえず演目構成、サーカスでいうところの芸番を書けという話しが、とあるところで持ちあがった。すると、虫が騒ぐというか、面白いかもしれない、そこからまた何かが始まるかもしれないと思い、短時間で書き上げたのが下記の芸番である。自分の

いた関根サーカス、当時の木下サーカス、キグレサーカスなどの演目に、ちらりと最近のものなどをごちゃ混ぜにした芸番を書いてみた。

*

1) オープニング・ダンス

華やかな衣装で着飾った演者達が登場し踊る。そこへ5台の一輪車(フラミンゴという脚の長い一輪車)が登場。踊り手達と入れ替わり、円形のリングを早いスピードで周り、客席に笑顔を送ると舞台奥に消える。

2) 小一丁ブランコ

基本的にひとりで乗るブランコ

中原中也のサーカスの詩にある“ゆあーん ゆよーん ゆやゆよん”の擬音は、このブランコを大きく、行灯(キャットウォーク)に当たりそうになるまで振り、それが反対側に大きく戻っていく様子を見て、感じたものと思われる<私感>

3) 男女2名のアクロバット

ハンド・トゥ・ハンドというアクロ体操系とコントーションといわれる軟体系がある。

4) 綱渡り(揺り綱) 揺れるワイヤーの上の演技

ワイヤーの上に膝で座りバランスをとりながら、ワイヤーにかけたハンカチを口でくわえてとる。

ワイヤーに寝転がり、トランペットを吹く女性の芸人もいた(タイトロープというのはピンと張ったロープ)。

5) 小動物の芸(犬の芸、あるいはカンガルーとのボクシングなど)

カンガルーにノックアウトされた男=クラウン<道化師>がここで登場する。

6) クラウン芸①

倒れているクラウン(ボケ)を助けに、もう一人のクラウン(つつこみ)が登場し、今度は二人で、ボクシング。(オーギュストとホワイトフェイスクラウン)

7) 跳ね出し梯子(T字形に梯子を、竹の片方につけ、それを肩で支える芸)

上乗りの芸人がその竹を登っていき、竹と直角に取り付けた梯子の上に立ったり、棧に足をかけてぶら下がったりする芸。日本の伝統芸のひとつといえるだろう。

<休憩>

(檻を使う猛獣ショーなどの場合、休憩時間に檻をセットする。空中ブランコをセットしたりする場合もある)

8) 衣桁渡り(青竹渡り)

6、7メートルほどの、大きな竹を地上2メートルほどのところに水平にぶら下げ、その上を歩く。大きく振れるにつけ、例えば、着ている衣装が風に大きく膨らむのが美しい。

9) 足芸(フットジャグリング)+ジャグリング

寝台といわれる台に仰向けに寝て、足を使って、樽や襖などを回す芸。この足芸の中で、つっぱりものといわれるのは、重いものを足で支える芸で、例えば、木下サーカスの葛の葉と言われる伝統芸は、“信太の森の狐伝説”を演じる。(ここでは、いわゆる、クラブを使ったジャグリングを数名で行い、その後フットジャグリングを見せる演出。この組み合わせは今までどこもやったことがない。)

10) クラウン芸②

例えば、見えないボールで行うテニスの試合。前の芸のジャグリングは具体的な物を使っているのに、それをギャグにして、見えないボールを追いかける芸。

11) 七丁椅子

高さ三メートルほど、直径五十センチほどの円形の平台のついた道具の上で行われる、椅子を七丁ほど積み上げていく芸。椅子を積みあげる途中で、逆立ちをする。椅子を斜めに置いたり、スリリングさを強調する。

12) アイアンホール(鉄球の中のオートバイショー)

マフラーを外したオートバイが鉄球の中を上下左右に走り回る。1台から2台、3台そして4台と、オートバイが増えていく。

(このショーの間に、空中ブランコのネット張りの準備。クラウンが手伝う、邪魔する、お客と遊ぶ)

13) 大一丁ブランコ

こちらのブランコは小一丁ブランコに比べるとバー(撞目)が長く、中央に鉄製のお皿が取り付けられている。これは、ブランコを揺すりながら頭倒立をするため。

14) 空中ブランコ

15) ファイナーレ

*

こうやって書いてみると、いかに、僕自身が古いサーカスのイメージに縛られているかを証明しているような気がする。僕自身がこのイメージから脱却して、それが具体的なテントの中で演じられるかショーでなくとも、サーカスとは何かを問いかけた作品を描くことができた時、現代サーカスの片隅に自分の居場所を見つけたことになるかもしれない。リングリング・サーカスが幕を下ろしたという出来事は、伝統的なサーカスと現代的なサーカスとの関連とその差異、演技の継承、興行形態のあり方、そしてパフォーマーの意識などなど、さまざまな現象を検証することで何が明らかになるのか、そうした課題を投げかけているのかもしれない。

★★ サークス学校 16年度後期発表会 開催のお知らせ ★★

2017年7月15日(土)と16日(日) どちらの日も13時30分開演

会場; 沢入国際サーカス学校 体育館 〒376-0301 群馬県みどり市東町沢入 491

電車でお越しの方 最寄り駅; わたらせ渓谷鉄道「沢入(そうり)」駅下車、徒歩10分

*打ち上げご参加ご希望の方、宿泊をご希望の方は、あらかじめ西田までご連絡いただきますようお願いいたします。

Tel.090-3008-7738 もしくは k-nishida@accircus.com まで

最新サーカス公演情報

★木下大サーカス

- 札幌公演 公演期間 2017年6月10日(土)～2017年8月29日(火)
- 休演日：毎週木曜日と7月12日、8月16日 ●電話：札幌公演事務局 TEL011-858-1008
- 会場：旧月寒グリーンドーム駐車場 特設会場(地下鉄東豊線 福住駅より徒歩10分)
- ウェブサイト <http://www.kinoshita-circus.co.jp/>

★ポップサーカス

- 松江公演 公演期間 2017年7月1日(土)～2017年8月27日(日)
- 休演日：毎週木曜日と7月7日(金)、14日(金) ●会場：旧県立プール跡地 特設大テント
- 電話：松江公演事務局 TEL0852-61-9100 ●ウェブサイト <http://www.pop-circus.co.jp/index.html>

★ハッピードリームサーカス

- 福岡県久留米公演 5月26日(金)～7月17日(月祝) ●休演日 毎週水曜日
- 会場 福岡県久留米市上津町1671-1 久留米 成田山駐車場大テント特設会場
- 電話：久留米公演事務局 TEL0942-65-6412 ●ウェブサイト <http://www.dreamcircus.jp/>

★2017 国立ポリショイサーカス

- ☆福井公演 7月15日～7月17日 サンドーム福井 ☆東京公演 7月20日～7月23日 東京体育館
- ☆横浜公演 7月28日～8月6日 横浜文化体育館 ☆幕張公演 8月10日～8月14日 幕張メッセ・イベントホール
- ☆流山公演<初開催> 8月18日～8月21日 流山市民総合体育館 ☆名古屋公演 8月24日～8月28日 愛知県体育館
- ウェブサイト <http://www.bolshoicircus.com/>

★みんなであそぼ！森と劇場のサーカスフェスタ 7月22日(土) 9時～16時30分

当協会企画制作。練馬区独立70周年を記念して開催する「ねりま文化ウィーク」の初日のイベントに、沢入国際サーカス学校生が多数出演させていただきます。練馬文化センターの劇場と周辺一帯に、みんなで楽しむサーカス広場が登場サーカス・パントマイム・車イスダンス+フリースタイルバスケ+ヒップホップ・大道芸・人形音楽大行進・シャボン玉・ジャグリングワークショップ・子どもの遊び場・練馬産の新鮮野菜が並ぶマルシェ etc.

<p>[劇場ステージのサーカスショー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●13:30 開演(13:00 開場) 全席自由 500円 ●練馬文化センター小ホールにて ●ふくろこうじ、沢入国際サーカス学校、SWZ connect(車イスダンス+フリースタイルバスケ+ヒップホップ) 	<p>[森のステージの大道芸ショー]</p> <ul style="list-style-type: none"> 10:00 <クスクス(クラウン)・うるる(クラウン)・ケント> 11:30/14:00 シャボン玉クリちゃん 12:30 <クスクス・うるる> 15:00 <クスクス・うるる・ふくろこうじ(クラウン)>
<p>[みんなでわいわい！人形音楽大行進]</p> <p>10:00/11:30/13:00/15:45 ムンドノーボぼこブヨ～ダン</p> <p>平成つつじ公園、練馬駅周辺</p> <p>[子どもの遊び場]</p> <p>人形を動かしたり自由に遊ぼう！入場無料。</p> <p>9:30-16:00 練馬文化センター小ホールロビー</p>	<p>[ワークショップ広場] 小学生以上対象 500円/回</p> <p>10:00-(60分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サーカスワークショップ(沢入国際サーカス学校) ②クラウン(パントマイム)ワークショップ(ふくろこうじ) 11:15-12:15(60分) SWZ connect ワークショップ(かんぱらけんた)・練馬文化センター第1・2リハーサル室
<p>☆電車アクセス 西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線「練馬」駅中央北口より徒歩1分</p> <p>☆お問い合わせ；主催 公益財団法人 練馬区文化振興協会 TEL03-3993-3311</p>	

2017年7月

15日(土)・16日(日)

どちらの日も
13:30 すとーと!

いろいろなサーカスの
パフォーマンスがみられるよ!
子どもから大人まで
みんなで楽しめるショー



そうりこくさい
サーカス学校

発表会

かんらんは
むりょうです
カンパ箱にお気持ちを
いただければうれしいです



そうりサーカス学校は山の中
アクロバットやジャグリング
玉乗りやフラフープ
日ごろの練習のせいかを
ショー仕立てにして
ひろういたします
みなさまおさそい合わせのうえ
わたしたちのサーカスを
ぜひごらんください



沢入国際サーカス学校

〒376-0301 群馬県みどり市東町沢入491
旧沢入小学校体育館
最寄駅 わたらせ渓谷鉄道
『沢入(そうり)駅』徒歩約8分
電話 東京事務局 03-3403-0561
<http://www.circus-mura.net/>
<https://www.facebook.com/circusmura/>